

令和5年 11月13日

大河原町議会議長 岡崎 隆 殿

文教厚生常任委員会

委員長 佐藤 巖

所 管 事 務 調 査 報 告 書

本委員会は、調査中の案件について下記のとおり調査を終了したので、大河原町議会会議規則第76条の規定により報告いたします。

記

1. 開催の日時 令和 5年 11月11日(土)  
11時00分から12時00分
2. 開催の場所 金ヶ瀬公民館
3. 出欠委員の氏名 佐藤 巖 大沼 常次 山崎 剛  
出席委員 丸山 勝利 中村 淳 佐藤 暁史  
欠席委員 秋山 昇
4. 説明のため出席 ひまわり会 会長 及川 幸恵  
した者の職氏名 同 副会長 菅野 あさ子
5. 議会事務局の出 議会事務局長 齋 修  
席職員の職氏名 同 局長補佐 伊藤 みどり  
同 主事 佐藤 邦彦
6. 所管事務の調査事項  
(1) 子ども食堂「ひまわり亭」について(運営団体からの説明)  
(2) 弁当配布の状況(現地確認)
7. 調査の内容  
(1) 運営団体者からの説明  
① 弁当に使う肉類は「(株)ヒルズ」さんから提供していただいている。その他の食材は店から特売日の時に購入している。  
② 弁当の献立は自分たちで考えている。会員(11名)から野菜などを提供しても

らうこともある。

- ③ 主食のご飯は、町社協が町民から提供されている米を分けてもらっている。
- ④ コロナ渦の影響により、現在は弁当方式で行っているが、会（運営団体）としては、みんなで寄り合って一堂に会して食堂形式でやりたいと思っている。
- ⑤ 町から年間12万円の助成金をもらっているが、弁当を作る上でいろいろなものの値段が高騰しているため、予算の範囲内で作るのが難しくなっている。活動して4年目になっている。
- ⑥ 弁当配布は、大人は300円の協力金をいただいている。調理ための会場費は無料であるが、冷暖房費は公民館に払っている。

#### 【質疑応答】

- Q 何食作っているのか。
  - A 毎回、30食作っている。
- Q アレルギー対策は怎么样了のか。
  - A アレルギー対策は特にやっていない。弁当の中にどんな食材が入っているのか記載されているので、それを見て判断してもらっている。
- Q 会員は何人いるか。
  - A 全員は11名、全員ボランティア活動で行っている。口伝で人を集めた。活動の始まりは、町社協で夕方にカレーを作って提供する事業があり、その活動に金ヶ瀬から3名ほど協力しに行っていた。町社協では今後、町内の小学校区に一つずつ「子ども食堂」を作りたいという方針があり、金ヶ瀬ではそういった活動に興味のある方々に声をかけて人集めをした。
- Q 材料は特定の業者から購入しているのか。
  - A スーパーなどの特売日を狙って必要なものを購入している。

#### ※ 配布状況の観察

10分程度で用意していた30食を全て配布した。たまに残る場合もあるという。予約は受け付けていない。

今は月1回の配布しかしていないが、地区内に運営団体が他にもあれば、配布回数は増やせるが、今の現状〈予算、会員人数〉では月1回が限度である。

- Q 定期的に食材を提供していただいているのは「(株)ヒルズ」さんだけなのか。
  - A そうなっている。
- Q 「ひまわり食堂」を始めた経緯を話していただきたい。
  - A 町社協が行っていたカレー作りから、各小学校区にこのような活動を広めたいという方針があり、4年前に地区内の知り合いなどに声をかけ人集めをした。子ども食堂は子どもが中心なのかもしれないが、お年寄りの食についても問題と思っているので、対象者は子どもだけに限定していない。貧困対策で行っているものではなく、食を通して安心な生活を営むことを目的としている。
- Q 「ひまわり会」さんの活動の目的は「貧困対策」ではなく、食を通して子どもたちの健やかな成長を見守ることなのか。
  - A 行政や民間が行っている配食サービスなどはあるが、みんなで食べる「共食」と

いうことを目標に今後も活動していきたい。子ども食堂というより「みんなの食堂」というものにしていきたい。

Q 食品衛生管理者はいるのか。大人の方への協力金を見方を変えると「販売」行為と受けとらえかねない。

A 食品衛生管理者はいない。保健所に確認し、営業ではないため置く必要はないと言われた。販売ではなく、あくまでも協力金や寄附だと思っているので考えていない。協力金についても税務署に確認し、課税対象にならないとのことであった。

## 8 まとめ

- (1) ひまわり会では月に1回、30食限定で主に子どもたちに無償で配布している。大人にも配布しているが、その際、300円の協力金をいただいている。
- (2) ひまわり会のメンバーは現在、11名が活動している。
- (3) 月1回の30食の弁当作りに要する経費は町からの1月当たり1万円の補助金を充てている。
- (4) 食材の中で肉類(豚肉)については、(株)ヒルズからの提供を受けており、このような提供がなければ活動を維持できないとのことである。
- (5) ひまわり会の目的は、子どもの貧困対策の一環として行っているのではなく、食を通して子供の成長を見守るということで活動している。
- (6) 弁当配布形式の活動では、会の本来の活動目的には沿っていないので、将来的には一つの場所で、子どもや大人が一緒になって食べることのできる「食堂」形式で行いたいという希望を持っている。